

なかつ市議会だより

令和6年
3月議会

沖代小学校6年生の社会見学（議会傍聴）



令和6年2月28日(水)本会議一般質問に、沖代小学校の6年生104名が、社会科学習の一環で、議会傍聴に来てくれました。傍聴が終わった後は、議会休憩中に、本会議場の執行部席や議員席にも座ってもらい、議場の雰囲気を感じてもらいました。

また、後日皆さんから、お礼のお手紙をいただき、「議会の様子を見ることができて良かった」、「将来は議員になりたい」などの感想もいただきました。

沖代小学校の皆さん、ありがとうございました。



中津市議会 副議長
はやし ひで あき
林 秀明

このたび議員の皆様のご御推挙によりまして、第70代中津市議会副議長に就任致しました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さを感じているところでございます。

これからも、市民福祉の向上と市政発展のため、副議長という職責の重要性やその責務を認識し、議決機関としての機能を十分に発揮できるよう、議長を支え議員のみなさんと共に市民に開かれた頼れる議会を目指して、誠心誠意がんばって参ります。

今後とも、より一層の市民の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任のごあいさつと致します。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



発行／大分県中津市議会

発行年月日／令和6(2024)年5月15日

議会新人事 決まる。(令和6年第1回定例会)

総務企画環境委員会 8人

総務部、企画市民環境部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

- 委員長 小住 利子 (公明党)
副委員長 本田 哲也 (清流会)
委員 荒木ひろ子 (日本共産党)
角 祥臣 (前進)
恒賀慎太郎 (前進)
相良 卓紀 (清流会)
中西 伸之 (ほんき)
須賀 要子 (市民の会)

産業建設消防委員会 8人

産業経済部、建設部、上下水道部、消防本部及び農業委員会の所管に属する事項

- 委員長 大塚 正俊 (市民の会)
副委員長 奥村 一義 (前進)
委員 三上 英範 (日本共産党)
藤野 英司 (ほんき)
松葉 民雄 (公明党)
林 秀明 (前進)
千木良孝之 (市民の会)
大内 直樹 (清流会)

教育厚生委員会 8人

健康福祉部、教育委員会、市民病院及び小児救急センターの所管に属する事項

- 委員長 木ノ下素信 (清流会)
副委員長 相良亜寿香 (ほんき)
委員 川内八千代 (日本共産党)
古江 信一 (前進)
木佐貫佳子 (市民の会)
三重野玉江 (清流会)
山影 智一 (豊の風)
淵野 真己 (前進)

広報広聴委員会 9人

多様な広報手段を活用した情報発信、多くの市民の意見や提案を把握するための広聴活動

- 委員長 荒木ひろ子 (日本共産党)
副委員長 恒賀慎太郎 (前進)
委員 角 祥臣 (前進)
中西 伸之 (ほんき)
本田 哲也 (清流会)
松葉 民雄 (公明党)
木佐貫佳子 (市民の会)
相良亜寿香 (ほんき)
三重野玉江 (清流会)

議会運営委員会 9人

議会運営に関する事項

- 委員長 大内 直樹 (清流会)
副委員長 藤野 英司 (ほんき)
委員 川内八千代 (日本共産党)
三上 英範 (日本共産党)
奥村 一義 (前進)
大塚 正俊 (市民の会)
木ノ下素信 (清流会)
山影 智一 (豊の風)
淵野 真己 (前進)

議員定数等調査研究特別委員会 9人

議員定数等についての調査・研究

- 委員長 古江 信一 (前進)
副委員長 千木良孝之 (市民の会)
委員 荒木ひろ子 (日本共産党)
小住 利子 (公明党)
中西 伸之 (ほんき)
本田 哲也 (清流会)
木ノ下素信 (清流会)
須賀 要子 (市民の会)
淵野 真己 (前進)

中津市都市計画審議会委員

- 本田 哲也 奥村 一義 林 秀明
木佐貫 佳子 山影 智一

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 木ノ下 素信 相良 亜寿香

3月議会 一般質問

- ◆令和6年3月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(緑色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



ちぎら たかゆき
千木良 孝之
(市民の会)



- **防災対策について**
 - ・津波・液状化の対応
- 飼い主のいない猫について
- **環境美化の取組みについて**
 - ・放置自転車・ごみのポイ捨て

問 国は令和12年までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消と目標を掲げているが市の取組みは。

答 今後は、戸建て住宅の所有者に向け耐震化の必要性や補助制度の情報提供等の更なる周知に努めます。要望があれば出前講座などを通じて直接市民への周知啓発を増やしていきたいと思います。

問 液状化が発生すると多くの方々が被害に遭われ、避難時や救助時にも影響が出る。中津市の液状化の可能性が高い地域は。また液状化の対応策は。

答 国の液状化の発生傾向図や大分県地震被害想定調査の結果よると埋立地や干拓地等、主に海岸付近の地域が液状化の発生が予測されています。今後市が実施する出前講座等で、液状化の発生の仕組みや発生が予測される地域等の周知を図ります。

問 未だに減らないポイ捨てどうしたらなくなるか。

答 市民一人ひとりが環境保全やごみなどの環境問題を自身の問題として考え行動するように、意識改革・行動変容を促すことが重要だと考えます。



つねが しんたろう
恒賀 慎太郎
(前 進)



- **中津市の医療体制について**
 - ・日曜、休日の当番医で対応出来ない場合の対応は
- **長者屋敷官衙遺跡の利用**
 - ・早期の土地有効利用は

問 体調急変時に当番医の専門外や患者集中により診療出来ない等の発生事例があるが、市として、市民の健康を守る観点での対応策は。

答 質問の状況を解決すべく、医師会と協議を重ねた結果、令和6年4月より、日曜・休日当番医が受診希望者を受け入れ出来ない場合は、可能な限り中津市民病院を除く二次医療機関で受け入れる事となりました。今後市報等を通じ市民の方々へお知らせをまいります。

問 長者屋敷官衙遺跡の整備計画は立てられているが、遺跡宣伝と市民の健康づくりを踏まえた公園整備を同時に進める考えはないか。

答 史跡指定地内の保存・活用の整備事業を進めていますが、3月24日以降、整備事業に支障を及ぼさない範囲で開放します。地域コミュニティの憩いの場、歴史学習の場として市民の皆さんに有効活用してもらえるよう取り組んでまいります。



みかみ ひでのり
三上 英範
(日本共産党)



- ***農村型地域運営組織(農村RMO)の概要と推進の可能性**
- 障がい者の親亡き後の施策
- 有機農業を推進し学校給食に
- **児童生徒の通学の現状と課題**

問 12月24日付けの日本農業新聞で紹介されている農村RMOの事業は、市の地域振興対策事業をさらに発展させる可能性があると考えます。農村RMOをどのように把握されていますか。またその推進の可能性を追求すべきでは。

答 農村RMOは令和4年から取り組まれ、①農地を守り②地域資源を生かして③生活支援にも取り組むという、3つの課題に取り組む組織の立上げで、全国的には1府23県56組織があります。集落が10戸未満になると、維持が困難になり、この事業が有効と考えます。今後県とも協議し、検討します。

問 児童生徒の適切な通学距離は、小学校では概ね4km、中学校では概ね6kmだとされている。ただし、文科省での議論では、これは晴天の場合の距離だとされる。雨天での通学支援については。

答 新年度予算で、遠距離通学児童生徒の通学費を定期代全額補助など拡充します。天候による一時的な通学方法の変更についての対応は考えていませんが、災害発生時は状況に応じて考えます。



おおうち なおき
大内 直樹
(清流会)



- **空き家バンク制度について**
- **市報の取組みについて**
- **生活保護受給世帯または就学援助受給世帯の中学生への学習塾利用助成の検討を**

問 空き家バンク登録物件を賃貸住宅、店舗利用など民間事業として利用することは可能か。

答 民間事業としての空き家バンク利用については、法人等による利用は制度上可能としております。

問 紙媒体離れや高齢化等による役員のなり手不足を理由に市報等の配布業務が負担という声もある。市報配布を月1回にしていだけないか。

答 情報を入手する手段の多様化を踏まえ、自治委員、民生委員、児童委員の方々へのアンケートを実施し、結果等で検討し、6月より市報の発行回数を月1回に減らします。

問 生活保護受給世帯や就学援助受給世帯の中学生への学習塾利用助成の検討は。

答 市では、希望者に対して、課外に基礎、基本を定着させるための学び直しの場を設定し、子どもの学習機会が保証されるよう学習支援を行っています。引き続き教育委員会と連携し、周知をまいります。

語句の説明

* 農村型地域運営組織(農村RMO)とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組みを行う組織のこと。



木佐貫 佳子
(市民の会)



- 「安心して通える」「働きたい」と思える学校環境
- 高齢者が「安心して暮らせる」と感じられるまちづくり
- 文化薫るまち中津をめざして

問 複数担任（新採用や小1のクラスに補助をつけるなど）についての考えは。

答 複数担任については、一人の担任が同一学級の多くの授業を担う小学校において、複数の教職員で子どもたちの学習状況や生活状況を把握できるという点で有効であると考えます。ただ、現在の教職員定数では一つの学級に複数の担任を配置することは難しいと考えます。教育委員会においては、児童生徒や学校の状況をつかみ、教育補助員や学習補助員等の配置を行っているところです。

問 ごみ出しについての困りの実態のとらえは。

答 高齢者の方や障がいのある方等で、集積所までごみを持って行くことや、ごみの分別が難しいといった困りがあると認識しています。市では、ごみ集積所までのごみ出しが困難な方への配慮としまして、本人との面談等を行い、地元自治委員及び民生委員の承認が得られた場合に、収集運搬業者と調整し、個別収集を実施しています。



須賀 要子
(市民の会)



- 旧下毛地域の活性化を目指して
- *ウェルビーイングな公園や公共施設利用を目指して
- ごみ減量はできるのか

問 山国町、耶馬溪町に㈱グリーンコープミルクに続く、食品関連企業誘致の強化を。

答 源流の里として知られ、水がきれいで、農業が盛んな山国地区の地域の特色を生かした企業誘致です。今後も旧下毛地域で生産された農作物を使用する企業など、食料品関連企業の誘致に取り組みます。

問 大貞総合運動公園にドッグランや防災井戸など防災機能の強化を。

答 ドッグラン施設の整備は、現在の利用状況等から難しい状況です。また災害時の水源の確保は生活する上で必要不可欠であるため、他の自治体の取組み等を参考に、前向きに取り組んでいきたいと思います。

問 ごみ袋の料金見直しの検討は。

答 課題の整理や新たな施策の展開などを検討する段階であり、当分の間、ごみ袋の金額の見直しは予定しておりません。



洲野 真己
(前 進)



- 令和5年7月の中津市豪雨災害の復旧・復興に向けて
- 森林環境譲与税の有効活用

問 中津市豪雨災害において今後の復旧の見通しは。

答 土木関係の道路・河川・橋りょう、農地等小災害復旧事業は令和6年度末までに、農林水産関係の農地・農業用施設・林道は令和7年度末までには全て完了する予定です。

問 今も避難されている方々に現況の説明等は。

答 随時、復旧工事の状況や支援制度等について説明を行いました。今後も被災者の意向を伺いながら、引き続き可能な支援を行ってまいります。

問 災害に強いまちづくり・人口減少対策のため、中津日田道路インターチェンジ付近に住宅用地の造成や市営住宅を建設すべきではないか。

答 民間事業者の立地や中津日田道路整備等の状況を注視しているところです。

問 令和5年10月の関係者による「森林環境譲与税に係る意見交換会」を受けての市の今後の方針は。

答 今後も関係者との意見交換会を定期的で開催し、現場ニーズの把握に努めてまいります。



本田 哲也
(清流会)



- 中津市に地震の備えはあるか
- 長者屋敷官衙遺跡を中心とした古代ゾーンの活用

問 南海トラフ・周防灘断層帯地震の認識は。

答 どちらの地震も何時発生してもおかしくない状況です。周防灘断層帯については、最大震度6弱、津波による死者は最大10人と想定されています。

問 学校に防災井戸の設置は。

答 生活用水はプールの水の活用を考えています。

問 衛生的で使いやすいトイレトレーラーの導入は。

答 まずは、簡易トイレの備蓄確保に取り組みます。

問 情報ツール「なかつメール」の登録推進は。

答 学校や企業等の団体に対し啓発を行います。

問 永久保存版の防災手帳等の発行は。

答 実情に合ったパンフ等を作成したいと思います。

問 古代ゾーン（大幡・鶴居地区）の有効活用は。

答 古代遺跡や沖代条里、古代豊前道、薦神社など様々な文化的価値のあるものが残され注目を集めています。学校では「ふるさと学習」の場、高齢者には健康増進の場、観光客には歴史ロマンあふれる観光の場として活用に取り組んで参ります。

語句の説明

*ウェルビーイングとは、個人や社会のよい状態、心身ともに満たされた状態のこと。



さがら あすか
相良 亜寿香
(ほんき)



- 養育里親について
- ごみ問題について
- 観光事業について
 - ・ 市内の観光案内看板の状況は
 - ・ 体験型の観光に力を

問 インバウンドを意識した観光案内看板について。
答 今後、インバウンドの動向に合わせ説明看板については英語表記を追加するよう努めて参ります。
問 2次元コードを使つての説明はいかがか。
答 看板に張り付けていくなど工夫して参ります。
問 体験型観光はどのようなものがあるか。
答 メイプル耶馬サイクリングロードを活用したサイクリングや八面山、競秀峰などのトレッキングがあります。また「やばはく」があり、春と秋の年2回開催しています。
問 本耶馬溪「やかた田舎の学校」のウェブサイトはあるか。又、予約方法の工夫をしてはどうか。
答 ウェブサイトの開設を含め、対応出来るように指定管理者と協議します。
問 やかた田舎の学校には炭酸泉が湧いており、泉質が非常に良いため、サウナテントを設置し、水風呂として活用する考えはないか。
答 コスト面の検討を行い、共に協議します。



おおつか まさとし
大塚 正俊
(市民の会)



- し尿汲み取り料金の適正化に向けて
 - ・ 旧中津市と旧下毛地域との汲み取り料金の是正に向けて
- 待ったなしの人口減少対策

問 し尿汲み取り料金の適正な料金設定を行うとともに、旧中津市と旧下毛地域の汲み取り料金の格差を早急に是正すべきでは。
答 一般家庭における、公共下水道や合併処理浄化槽などを使用した場合の経費負担の状況、また近隣他市の改定状況などを調査し、適正な手数料水準の検証と併せて、手数料体系についても協議してまいります。
問 昨年12月、市議会から市長に提言した「人口減少を克服する緊急4ヵ年計画」に掲げた施策（58項目）を総動員して人口減少対策を推進すべき。
答 人口減少対策の施策効果は数年で直ちに現れるものではなく、生まれてきた子ども達が大人になるまでの20年、30年という長期的な視点で地道に取組みを重ねていくことが必要と考えます。提言も踏まえ、将来の中津市のために必要な施策を幅広い分野で検討・構築し、国県等とも連携して、一体的に進めていきたいと考えています。



かわうち やちよ
川内 八千代
(日本共産党)



- 災害時の避難所設営・経路・運営の考え、生活再建への支援
- 学校給食費は全員無料に
- 18才まで医療費は完全無料に
- 介護保険料は引き下げを

問 災害時避難所で生活をした女性から「布団の中で着替えた。」「大人数の食事づくりで疲労が蓄積した。」などの声が聞かれた。女性の視点を取り入れた災害対策を。また、災害対応住宅入居者へは、転居が可能となるまでの間柔軟な対応を。
答 女性防災士等の意見を積極的に取り入れることで避難所環境の向上に取り組めます。大規模災害時には、仮設住宅入居期間の延長を検討するなど、被災者に寄り添った支援を行いたいと思います。
問 学校給食費は全員無償とすべき。そのために必要となる経費については、十分財源はある。
答 学校給食無償化は市の財政に大きな負担となります。国の「子ども未来戦略会議」の動きを注視し、市政全般を見据えた適正な判断に努めます。
問 県が高校生の医療費に助成するので市はその分をあてて医療費は完全無料にできるのではないか。
答 定住自立圏内において、他市にはない小児救急センターをはじめとする医療体制が崩壊しないように一部負担金を納める形としています。



おくむら かずよし
奥村 一義
(前 進)



- 学びたい教育のまちづくり
- 生涯学習の推進
- 環境の保全
- インフラ整備・維持
- 中小企業の活性化

問 小学生への「ふるさと学習」の内容と狙いを教えてください。
答 「ふるさと学習」とは、身近な地域との関わりを通して行う体験を中心とした学習授業です。「ふるさと学習」を通して、子どもたちへふるさとへの愛着を持っていただき、ふるさとを誇りに思う心情を育むだけでなく、保護者や地域との信頼関係を築いていきたいと考えています。
問 中津市中小企業振興基本条例制定後、今年度中に計画が策定されると伺っていましたが、その後の進捗と今後の計画を教えてください。
答 市内の関係機関で構成する中津市産業振興会議を開催し、計画案を作成しました。現在、パブリックコメントを実施中で、本年度内に策定します。近年、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増す中、この「中津市中小企業振興計画」により、時代のニーズに沿った様々な施策に取り組んでまいります。



はやし ひで あき
林 秀明
(前 進)



- 水泳授業のより良いあり方
- 公用車の関連業務の省力化と効果的な運用について
- 新たな価値を上げる3つの中津の道の駅について

問 児童生徒の泳力向上や教員の負担軽減及び学校プール施設の維持管理費用削減のため、民間のスイミングスクール等の新たな検討をすべきでは。

答 今後の水泳授業のあり方を考えた時に、様々な課題解決のため、民間のスイミングスクール施設の活用等も有効な手立てであると考えます。

問 公用車の配置を利用実態に合わせた、効率的な運用や経費削減及び車両美化を提案します。

答 今後は、一括集中管理を導入し調査・分析を進めます。自動車関連団体の連携は、経費削減や業務軽減に繋がり検討すべき方策です。また、清掃は、使用者の責任や定期的な点検を行います。

問 道の駅なかつは10周年、耶馬トピアはインターチェンジ開通地、道の駅やまには登録から25周年。今後は、もっと地域の独自性が必要だが。

答 今後は、それぞれの道の駅の魅力の発信強化と中津日田道路によって、市内3つの駅が繋がることを活かしたPRや合同イベントを実施します。



お す み と し こ
小住 利子
(公明党)



- 災害対策について
 - ・ 女性の視点からの取組み（避難所運営について）
 - ・ 避難所におけるペット対策
- 心と体の健康について

問 防災士協議会の部会ごとに、女性防災士リーダーを登用しては。

答 地域の防災活動に女性が積極的に参画し、女性の視点に立った災害対応を行っていくことは重要であるため、防災士協議会の理事会等において周知を行ってまいります。

問 防災部局に女性職員を配置する考えは。

答 現在、防災危機管理課に常勤の女性職員は配置していませんが、令和5年度では2名の女性管理職を課長補佐として兼務させています。今後も平時の準備を含めた防災体制強化のため、女性職員の視点を活用してまいりたいと思います。

問 ペット同室避難に対する考えは。

答 現状ではペットと同伴して避難できる施設はありませんが、ペット同伴が可能な自治体も増えつつありますので、まずはペットを施設内に受け入れることが出来る施設を確保した上で、同伴可能な施設の確保を進めていければと考えております。



み え の た ま え
三重野 玉江
(清流会)



- 教育現場の現状と課題
 - ・ 学校集金業務について
 - ・ 中津駅周辺の魅力発信を
 - ・ DCに向けた駅周辺の観光について

問 小中学校では給食費以外の学校集金は未だに児童生徒を通じて封筒が配られ、現金を徴収する形だが対象の保護者はキャッシュレスに慣れている世代でもある。集金業務DX化の考えは。

答 現在DX化も含め学校徴収金の徴収・管理の効率化について、他市の現状等、情報を収集しているところです。今後も他市の状況や情報を精査し、中津市における適切な学校集金の在り方について考えていきたいと思えます。

問 令和6年4月から6月まで開催される福岡・大分デスティネーションキャンペーンで、誘客と中津駅周辺の活性化につなげたい。市としてどのような取組みをしているか。

答 中津駅周辺は観光の玄関口として重要なエリアの一つです。現在、中津城下町を古地図で歩くまち歩きマップの製作や、電動キックボードの導入、古民家を活用するための補助事業で、ハードとソフトの両面から観光振興に取り組んでいます。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信
(清流会)



- こどもまんなか
- 農業振興について
- 災害対応での情報共有

問 どのように子どもの意見を聴き、その意見をどう反映していくのか。

答 市内の小中学校2年生を対象に、タブレット端末を使用して匿名方式とし、子どもが本音で意見表明しやすいようにして、「こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査」を実施しました。「第3期なかつ子ども・子育て支援事業計画」に調査結果を盛り込み、作成したいと考えています。

問 6次産業創生事業がどう農業振興に役立っているのか。

答 生産者の所得向上や新たな販路拡大に向けた6次産業化の取組みを農業従事者等へ積極的に周知しネットワークを広げることで事業者の連携強化を図り、更なる農業振興に寄与してまいります。

問 防災ラジオを聴いてもらうための施策は。

答 FMなかつと協議を行い、防災ラジオを所有されている方に向けての情報内容の充実に向けた取組みを進めてまいります。



ふる え しん いち
古江 信一
(前 進)



- 災害時の緊急対応について
 - ・ 避難路の確認と整備
 - ・ 緊急時の生活用水の確保
 - ・ 増加する外国人への対応
 - ・ 家財の転倒防止器具の普及

問 災害時の生活用水の確保について、県南等で実施されている個人所有の井戸やボーリング等を災害時協力井戸として、地域と連携し登録して頂き水源の確保に取り組みませんか。

答 災害発生時の水源の確保は、生活する上で必要不可欠であるため、他の自治体の取組み等を参考に、中津市としては地域や自主防災組織の防災活動の一つとして、前向きに取り組んでいきたいと思います。

問 耐震改修は多額の費用がかかり改修が進まない現状において、家財の転倒防止器具購入に対して一定のルールを決め、自主防災組織への助成対象品に追加し、その普及を推進しませんか。

答 自主防災組織に対し市が実施している自主防災組織活動事業費補助金は、各個人に対する支援は対象外となりますが、自主防災組織が活動の一つとして地域の防災意識向上のための取組みとして行うのであれば、補助対象として前向きに協議したいと思います。



やま かげ とも かず
山影 智一
(豊の風)



- 南部校区の再生について
 - ・ 空き家対策
 - ・ 金谷・小祝・祇園地区の再生
- 旧郡部の活性化、振興
 - ・ 八面山を軸とした観光振興

問 南部校区の高齢化率は高く、人口と事業者の減少が著しく進んでいる。校区では「南部再生会議（仮称）」を設置し、校区住民で南部校区再生のための取組みがスタートした。これまでの中心市街地活性化の取組みを検証し、観光産業の育成、まちなか企業誘致に積極的に取り組むべきだと考えます。いかがですか。

答 中津城周辺の道路の美装化、市歴史博物館や南部まちなみ交流館等、観光や地域交流拠点施設整備が行われ、城下町のまちなみ景観保存や形成が進みました。今後は交流人口の増加やまちなみ景観の維持保全、施設の活用促進等が課題です。地域経済の発展、関係人口増加に繋げていくために、カフェや宿泊施設等の整備助成制度「城下町まちなみ保全・魅力創出事業補助金」を創設するとともに、情報通信関連・オフィス事務業向けの助成金の雇用人数の要件を緩和し、商工会議所や裁判所等がある利便性の高い立地を紹介しながら、まちなか企業誘致に取り組めます。

令和6年6月議会の開催日程(予定)

5月	29日(水)	本会議「開会・会期・議案上程」	
6月	5日(水)	本会議「一般質問」(4日間)	
	6日(木)		
	7日(金)		
	10日(月)		
	17日(月)	本会議「議案質疑」	
	18日(火)		教育厚生委員会
	19日(水)	常任委員会	総務企画環境委員会
	20日(木)		産業建設消防委員会
	24日(月)	本会議「自由討議」	
	26日(水)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」	

お詫びと訂正

「なかつ市議会だより 第121号」で、誤りがございました。お詫びして、訂正いたします。

○なかつ市議会だより6ページ 大塚正俊議員
代表質問 図「旧下毛町村の将来推計人口」

(訂正内容)

緑色の線グラフと赤色の線グラフが入替わって
いました。正しくは、緑色の線グラフが旧耶馬溪町、
赤色の線グラフが日本耶馬溪町となります。

※詳細については、ホームページをご覧ください。



あらい き こ
荒木 ひろ子
(日本共産党)



- 国民健康保険税の引き下げ
- 第9期介護保険計画に国民年金で利用できるサービスの増を
- 人権の尊重と個人情報保護
- 補助金不正受給の早期解決を

問 自衛隊への市民の個人情報提供状況と、市民のプライバシー保護の権利保障の考えは。

答 市が提供した対象者情報は、募集等事務のみに適切に使用され、今後情報提供を望まない方は、除外申請ができるようにします。

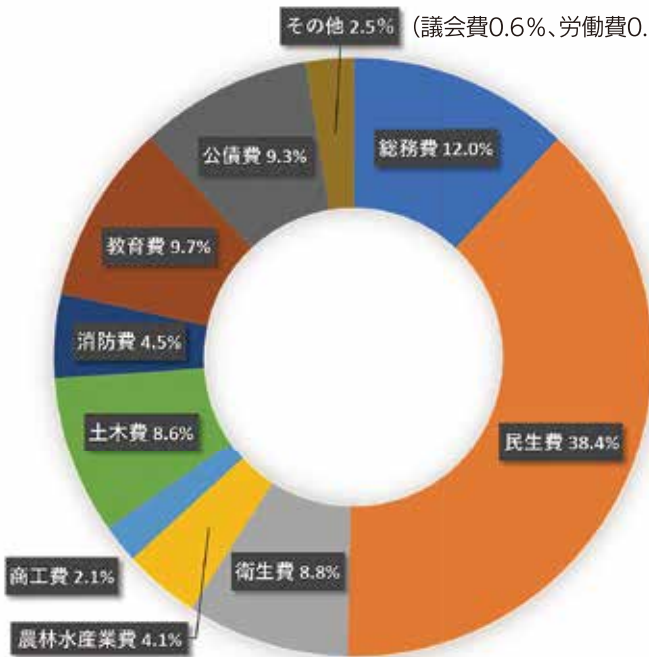
問 「あなたのお子さんが、同和地区の人と結婚するとしたら、賛成か反対か」の人権意識調査項目は。憲法にてらしても、なくすべきでは。

答 差別意識の存在を深く探るためのものであり、不適切であるとは考えていませんが、次回調査時に質問項目の検討を行う予定です。

問 元市職員が領収書を偽造し、中津市が1,254万円の公金を支出した。被害額の回収の目途と不明金の行方を市民に明らかにする市の責任は。

答 判決確定後、市に損害が出ないよう判決に基づき速やかに元市職員に支払を求めていきます。裁判においては不正な改ざんが争点でした。

令和6年度 中津市一般会計予算



その他 2.5% (議会費0.6%、労働費0.1%、災害復旧費1.2%、予備費0.6%)

459億3,616万9千円

前年比
26億8,163万1千円増額 (+6.2%)
事業の一部をご紹介します。



総務費

◆デマンド交通運行事業【1,430万円】

*旧下毛地域では、中津駅から日田市を結ぶ路線バスに加えて、各支所管内でコミュニティバスを運行することで、地域住民の移動手段を確保してきました。令和元年度からは、新たな取り組みとして、三光深水地区でデマンド交通の運行を開始しましたが、令和6年度からは、デマンド交通の運行地域をさらに拡大し、公共交通空白地域の解消と地域住民の利便性の向上につなげます。

民生費

◆こども誰でも通園試行的事業【1,190万円】

*こども未来戦略方針で示された「(仮称)こども誰でも通園制度」の本格実施を見据えた試行的事業を実施します。
*「こどもの良質な成育環境の整備」と「すべての子育て家庭に対する多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの形の支援の強化」が図られます。これにより、子育てに不安を抱える保護者の孤立防止や、同世代とのふれあいによるこどもの心身の成長が期待できます。

◆介護人材確保事業【300万円】

*介護人材の確保及び定着を図るため、市内の介護サービス事業所に就職した方に対し、就職応援金等を支給します。
*住所要件は設けず、市外にお住まいの方も対象者とする事で、慢性的な介護人材不足の解消や、将来介護職をめざす人材の増加につなげます。

衛生費

◆子ども医療費助成事業【3億7,261万円】

*令和5年度末就学児及び小中学生までを対象に実施していた子ども医療費助成事業について、令和6年4月診療分から対象年齢を高校生等まで拡大し、子育て世帯の更なる負担軽減を図るとともに、子どもの疾病の早期発見と治療の促進及び保健向上を図ります。

農林水産業費

◆市民おさかな感謝デーイベント事業【450万円】

- * 漁業者や仲買人、水産物小売業組合などにより、市内外の消費者に地元の魚の美味しさや魅力を発信して消費につなげるイベントを開催します。本イベントは令和6年度に大分県内で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」との同日開催を予定しています。
- * 地魚の魅力を発信することにより、魚食普及を促して水産物の消費拡大、魚価の安定につなげます。当イベントのPRとともに、全国豊かな海づくり大会のPRも行います。

商工費

◆城下町まち並み保全・魅力創出事業【700万円】

- * 城下町エリアで概ね昭和20年以前に建築された建物を利用して、観光客の憩いの場として新たにカフェや宿泊サービス等を提供する方に対し、改修に要する費用の一部を支援します。
- * 城下町のまち並みの保存や回遊の魅力向上が図れ、観光振興につながることを期待されます。



土木費

◆空き家バンク登録推進補助金・空き家改修事業補助金【1,700万円】

- * 旧下毛地域の過疎対策として実施してきた「空き家バンク」を、令和5年度より「空き家対策」として市内全域に対象を拡充し、物件の情報発信を行っています。
- * 空き家バンクの普及をより進めるため、これまで旧下毛地域限定で実施してきた「空き家バンク登録推進補助金（家財処分）」と「空き家改修事業補助金」についても対象を拡充し、空き家バンクの登録推奨や成約件数の増進を図り、空き家の利活用を支援します。

消防費

◆防災監視カメラ設置事業【5,808万円】

- * 現在、洪水時に河川が氾濫する危険性の高い場所に、防災監視カメラを24台設置し、本庁及び各支所にて河川監視を行っています。令和6年度に、新たに防災監視カメラを3台（本耶馬溪町耶馬溪橋付近、多志田地区、耶馬溪町柿坂地区）設置し、監視体制の強化を図ります。



教育費

◆大幡幼稚園改築事業【1,736万円】

- * 学校施設については「中津市学校施設長寿命化計画」に基づき、建物の経過年数・劣化状況に応じて、計画的に整備を実施しています。
- * 大幡幼稚園の園舎は建設から66年が経過しており、安心安全な教育環境を整備するため、園舎を改築します。また、大幡校区においては、児童数の増加と共働き家庭の増加により、放課後児童クラブのニーズも高まっており、今回の大幡幼稚園の改築に併せて、放課後児童クラブを併設し、施設の複合化も図ります。



◆中津南高校耶馬溪校通学支援事業【618万円】

- * 中津南高等学校耶馬溪校通学支援補助金要綱に基づき、スクールバス、路線バスを利用して通学する生徒の保護者に対して、通学支援補助金を交付しています。令和6年度より、保護者の個人負担上限額を、年間8万円から5万5千円に引き下げます。



3月議会で決まった内容

令和6年3月議会は、2月20日から3月21日までの31日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案19件、条例関係議案20件、その他の議案1件、合計40件を可決、報告1件を承認しました。また、請願1件を不採択とし、決議案3件を決議しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。)

補正予算

- ◆令和5年度中津市一般会計補正予算(第8号)
*国の第1号補正予算に対応し、南部小学校施設長寿命化等を前倒しで行うほか、事業費の確定等に伴う所要の補正を行うもの。
- ◆令和5年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ◆令和5年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和5年度中津市サイクリングターミナル事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和5年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和5年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆令和5年度中津市病院事業会計補正予算(第1号)
- ◆令和5年度中津市診療所事業会計補正予算(第1号)
- ◆令和5年度中津市水道事業会計補正予算(第3号)
- ◆令和5年度中津市下水道事業会計補正予算(第3号)

その他

- ◆財産の取得について(青の洞門周辺整備事業用地)
*駐車場及び視点場等の整備に伴う土地の取得について議決を求めるもの

当初予算

- ◆令和6年度中津市一般会計予算
*主要事業については、8ページから9ページに掲載しています。
- ◆令和6年度中津市国民健康保険事業特別会計予算
- ◆令和6年度中津市介護保険事業特別会計予算
- ◆令和6年度中津市後期高齢者医療特別会計予算
- ◆令和6年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計予算
- ◆令和6年度中津市病院事業会計予算
- ◆令和6年度中津市診療所事業会計予算
- ◆令和6年度中津市水道事業会計予算
- ◆令和6年度中津市下水道事業会計予算

報告

- ◆専決処分報告について(令和5年度中津市一般会計補正予算(第7号))
- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)*10件
*公用車による公務中の交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定(4件)
*住居番号の付番誤りに伴う和解及び損害賠償額の決定
*道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定(3件)
*施設管理者としての和解及び損害賠償額の決定(2件)
- ◆令和5年度中津市土地開発公社事業計画補正及び補正予算の報告について
- ◆令和6年度中津市土地開発公社事業計画及び予算の報告について

条例

- ◆組織の改編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ◆中津市会計年度任用職員の報酬等に関する条例等の一部改正について
- ◆各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例及び中津市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ◆中津市特別会計条例の一部改正について
- ◆中津市監査委員条例等の一部改正について
- ◆中津市企業立地促進条例の一部改正について
- ◆中津市漁港管理条例の一部改正について
- ◆中津市奥耶馬溪憩の森の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市道路占用料徴収等に関する条例の一部改正について
- ◆中津市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市水道事業給水条例及び中津市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について
- ◆中津市福祉の里づくり施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ◆中津市子ども医療の助成に関する条例の一部改正について
- ◆中津市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について
- ◆中津市国民健康保険税条例の一部改正について
- ◆中津市介護保険条例の一部改正について
- ◆中津市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について
- ◆中津市立小学校児童の通学費の補助に関する条例及び中津市立中学校生徒の通学費の補助に関する条例の一部改正について

請願

- ◆日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出を求める請願
- 以上1件の請願を不採択としました。

決議

- ◆パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議
 - ◆議第40号 財産の取得（青の洞門周辺整備事業）について、整備計画を再検討することを求める附帯決議
 - ◆議第11号 令和6年度中津市一般会計予算の学校給食運営事業の新共同調理場整備事業（発注支援委託、地質調査委託）について、議会に対して整備の必要性の是非を論議できうる情報の提供と説明責任を果たすことを求める附帯決議
- 以上3件を決議しました。

自由討議

- ◆中津駅周辺の活性化について
 - ①中津駅周辺の魅力や強み、また問題点や課題は
 - ②暮らしの中の公共交通機関との連携を考える
 - ③市民の役割、民間の役割、行政の役割について
 - ④DCをきっかけに新たな魅力発信、誘客につなげる観光ルートは
 - ⑤他自治体の事例から考える中津モデル、活気あふれるための取組みは
- （補足説明者：三重野玉江議員）



- ◆さまざまな課題に対する議会の取組み
 - ①地域における移手段の確保（コミュニティバス等）
 - ②市民プール
 - ③野球場ナイター
 - ④し尿収集・運搬料金
 - ⑤その他

（補足説明者：中西伸之議員）



以上2件について自由討議を行いました。

◆賛否の分かれた議案

- [議第1号] 令和5年度中津市一般会計補正予算(第8号)
- [議第11号] 令和6年度中津市一般会計予算
- [議第13号] 令和6年度中津市介護保険事業特別会計予算
- [議第14号] 令和6年度中津市後期高齢者医療特別会計予算

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進			清流会					市民の会			日本共産党		ほんき		公明党		豊の風						
		林秀明	角祥臣	恒賀慎太郎	古江信一	奥村一義	瀧野真己	木ノ下素信	相良卓紀	本田哲也	三重野玉江	大内直樹	大塚正俊	木佐賀佳子	千木良孝之	須賀要子	荒木ひろ子	川内八千代	三上英範	中西伸之	藤野英司	相良亜寿香	松葉民雄	小住利子	山影智一
議第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第11号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第13号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第14号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

※上記以外の議案(請願・意見書・決議等の議員提出議案を除く)については、全会一致で**原案可決**となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

関係団体等と意見交換会を行いました！

中津市議会の各委員会は、それぞれが所管する分野における課題等について、関係団体等との意見交換会を行いました。

産業建設消防委員会



令和6年2月1日(休)、一般社団法人 中津耶馬溪観光協会の皆さまと、意見交換会を行いました。

意見交換会には、役員及び事務局の合計6名の方にご参加いただき、「今、観光浮揚に向けて必要な振興策」をテーマに、活発な意見交換が行われました。

教育厚生委員会



令和6年2月26日(月)、市内の地域包括支援センターの皆さまと、意見交換会を行いました。

当日は、5事業所8名の方にご参加いただき、人材確保や地域リーダーの発掘、デジタル化への対応など、現状の課題や行政・市議会に求めることについて、さまざまな意見交換が行われました。